



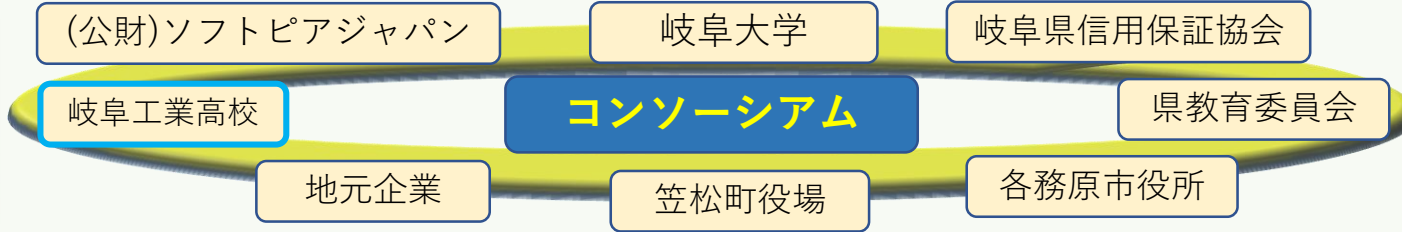
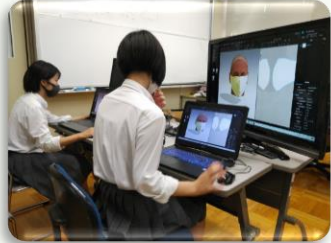
地域資源を核とした地域産業の未来の扉を拓くテクノロジストの育成

背景

人口減少（流出）・少子高齢化が進む今後、特に県内の製造業や建設業における人手不足や、地域の衰退は深刻化することが想定されることから、地域の活力づくりや地域の産業振興を担う人材の育成が課題である。

地域との協働

コンソーシアムの役割は、地域産業におけるニーズと学校教育内容の共有により社会から求められる力を明確にし、地域課題の共有や企業連携に関する調整等、企業・自治体と本校をつなぐ中間組織体として活動を推進する。



課題

地域産業の担い手不足

地域の活性化

地域の防災・災害時対応

研究プログラム

令和2年度の目標

取組状況

地域産業を担うテクノロジストの育成
 地域産業界から求められる資質・能力に基づいた、IoT・AI等を活用した生産性の向上及び、地元産業を担い発展に寄与できる人材の育成
 ①地元産業・企業発見②地域産業人材育成

- ア 企業見学の実施
- イ 航空機製造の一連工程と組立実習実施
- ウ 金型製造の一連工程実習、品質管理に関する学習の実施
- エ 製品化レベルを想定した回路設計の実施
- オ ドローンとBIMを活用した実践的な学びの展開

地域を愛するテクノロジストの育成
 地域の魅力発信や新たなビジネスモデルを探求し、魅力あるビジネスを構築できる人材を育成
 ①地域理解と魅力発信
 ②新たなビジネスモデル提案 ③地域貢献

- ア ポイントクラウド取得から活用までの学習を通じた実習の実践
- イ PRグッズと企業ムービー製作の実施
- ウ 岐阜市との連携によるプレゼン作成
- エ 岐阜工テクノLAB主体によるマスク製作企画運営型インターンシップの実施

地域を守るテクノロジストの育成
 地域の防災における課題を探究するとともに、ものづくり・工業技術を通して課題解決に向けた、災害に強い安心・安全な街づくりを提案できる人材の育成
 ①防災・減災 ②災害時対策

- ア ドローンにより取得した校舎の3Dデータの模型化に関する研究の実施
- イ 孟宗竹を用いた原水の水質向上の為の実践的学習の実施
- ウ 持ち歩ける太陽光発電機に関する研究の実施

成果

- ①地域の各産業界から求められた専門分野と研究機関における工業技術を理解することや、様々なトラブルシューティングを経験することにより、関連する幅広い技術を身につけると共に、スキルを磨くことに繋がった。
- ②学科間の連携を強化した上で、地域の人的・物的資源の効果的に組み合わせ、地域の「学び」と「社会」を繋げる教育活動の充実を図った。
- ③県民目線でのSNSによる地域魅力発信をタイムリーかつ積極的に実施することで、タイムリーな情報資源収集に繋がり、収集したデータと本校の取り組みを有機的に繋げることで、データの持つ価値を発揮させることができた。

課題

普通教科とのさらなる横断的な取り組みや、ICTを活用した活動の拡大化を図り、これまで以上に地域住民、外部の教育機関、自治体や企業との更なる連携を教育課程内外で実施し、社会的な課題を解決し、完遂する人材群を育成することを目指す。